



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・青木真知子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず！

新市長の市政運営をしっかりと見ていこう

9月議会初日、中嶋新市長は、所信表明演説の中で、「合意形成に努めながら」やっていくと述べた。合意形成とは、お互いの意見を一致させるようにするという事だから、なかなか難しい。でも、民主政治にとっては大事な事だ。

今、民主主義を唱える国々でも、(実質独裁体制の国は論外だが)意見の違う党派を攻撃し、合意形成など考えもしない、分断・対立の政治が広がっている。日本の政治も同様で、選挙で多数を取った勢力が、まともな議論もせず、数の力で押し通すことが当たり前のようにになっている。ネット社会の現在、ウソを含む偏った情報と、差別的・暴力的なものが増え、理性や寛容性が後退している気がする。だから、中嶋氏の「合意形成」発言は評価したいと思う。

ただ、後日の一般質問の中で、辻さんに「合意形成を図るのに市長として特に重要なことは何だと考えるか」と聞かれ、「価値観の違いに関係なく、意見をよく聞いて、良いと思うものは取り入れる姿勢」と答えたのだが、少し疑問を感じた。違う意見もちゃんと聞くことが大事なのはその通りだ。けれど、自分が良いと思うものだけを取り入れるのでは「合意形成」にならない。最終的に決めるのは市長の権限だとしても、お互いの意見を出し合い、一致できること、歩み寄れるところを探っていくのが、「合意形成に努める」ことであるはずだ。中嶋氏がそういう市政運営をしてくれるのか、しっかりと見ていくつもりだ。(S・K 高尾在住)



市の前向きな答弁に期待

辻さんの一般質問を傍聴した。私にとって知らないこと、意外なことが多く、その一つ一つに市側が前向きに答えていたのが印象的だった。

中でも大切なことだと思ったのは、コロナ禍で生活に困って社会福祉協議会の貸付金制度(満額200万円)を利用した世帯が、あきる野市でのべ1000世帯以上あって、その返済が来年1月から始まる、ということだ。

この制度はお金を貸すことだけが目的ではなく、そこから、その世帯が自立できるような支援につなげていくことが目的だという。ただ、社協は、返済が始まる旨の連絡はするものの、借りた人がどのような生活状況なのか、支援の必要がないのか等を尋ねる予定はないという。一方、生活支援の相談窓口はあきる野市にあり、社協の貸付金制度を利用する人は、事前にあきる野市の窓口を通すことになっているそうだ。

辻さんは、困った人からの連絡を待つのではなく、社協と連携して、アンケートなどの積極的なアプローチをすべきではないかと質問したのである。これを「プッシュ型」と呼んでいた。最初、健康福祉部長は「プッシュ型はできない」と消極的だったが、辻さんとのやりとりのなかで、制度の本来の趣旨からすれば社協との協議の場をもち、主体的な支援につなげることができると答えた。

今回のように議員が制度の中身を深く知り提案することで、それを市側が前向きに受けとめて、よりよい施策につなげることができる。本来あるべき議会の姿を辻さんの一般質問に見ることができたように思った。(T・K 草花在住)

コロナ禍で「働く」

数年前から大きなバッグを背負って自転車に乗った配達員を見かける。ウーバー・イーツ配達員だ。コロナ感染が拡大してからは、ファーストフード店の前に並んで受け取りを待っている彼らを目にするようになった。

私は親の介護やちょっとした頼まれ仕事もあって、毎週末生まれ育った杉並に通っている。先日の朝、今日は早めに崩れてくるという空模様で急いでいると、8時前だというのに駅前のガード下に若い配達員がもう雨合羽を着てじっとスマホを見ている。その脇を通りながらふと50年前の自分が思い浮かんだ。町場のとび職の仕事を学生アルバイトから続けていた。固定給なしの日給月給、朝から雨が降れば仕事にならず、仕事の途中雨が降ってきても「一日分に



ボランティア大募集中！

**辻よし子の活動の輪を広げるために、
あなたの手を貸してください！**

辻よし子は、政党や大きな組織に属さず、市民の横のつながりを大切に、草の根民主主義を目指して活動しています。

活動の輪をさらに広げるためには、「歩む会通信」や「市議会レポート」を通じて、辻よし子の活動を、一人でも多くの市民に知っていただくことが大切です。

現在、「辻よし子と歩む会」のメンバーがポスティングをしています。さらに多くの手が必要です。何枚でも、無理のない範囲で構いません。ぜひ、ポスティングのお手伝いをしてください。

詳しくは、下記まで。

電話 & FAX : 042-596-4569 (佐橋)

e-mail : kusasigi@nifty.com

入会 & 活動のカンパも受け付けています ⇒

したい、せめて半日分だけでも」と続ける、そんな労働がみじめだった。それを糧にして生活していた。

それでも高度経済成長の時代は、仕事は続いてあって、その仕事は私を育ててくれた。非力であってもおとなしくまじめだというだけで仕事の声掛けが増えて、私の居場所を作ってくれて、守ってくれた。

今の時代のこの配達員のような若い人たちは大変だなと思った。生活のための当座しのぎなら、それがどんな労働形態でも助かる。でも、金の案分だけで仕事を規定され、時給、非正規と振り分けられる。今の雇用形態は、まっとうにその仕事、その労働現場に向き合っているのかと腹が立つ。1時間後に通るとガード下には他の配達員も増え、その若者は同じようにスマホを見ていた。

(S・S 小川東在住)



無党派
一人会派

◆◆◆◆◆ 辻よし子・プロフィール ◆◆◆◆◆

1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で初当選。現在8年目。常任委員会は環境建設委員会。広報広聴委員会委員長。夫、次男、ネコ1匹と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」

会員募集中！

年会費：1,000円（カンパ歓迎！）

郵便振替

加入者名 辻よし子と歩む会

口座番号 00140-9-430053

ゆうちょ銀行(店番)〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

当座 0430053

